

2

放射線は、身の回りのどこにでもある

② 放射線は、身の回りのどこにでもある

問題 □の中のことばをなぞり、放射線は私たちの身の回りのどこにでもあることを確かめましょう。



説明

放射線は、宇宙ができたときから、どこにでもあります。宇宙から放射線が地上に降っています。地面や空気、食べ物からも放射線は出ています。放射線などにさらされることを「ひばく」といいます。

2

※すべての温泉から放射線が出ているわけではありません

学習のポイント

- ①放射線は身の回りにある。
- ②宇宙、空気、地面、食べ物などからの放射線が出ている。
- ③人が放射線を受けることを被曝という。

指導上の注意点

- ①放射線はどこにでもある。
- ②原子力発電所の事故の前から、放射線は自然界にあった。
- ③爆弾の熱風や爆風にさらされることを「被爆」という。放射線にさらされるのが「被曝」である。

補足

- ①自然界にもともとある放射線を自然放射線という。
- ②宇宙では地上より放射線が強い。
- ③空気中のラドンという気体から放射線が出ている。
- ④ラジウム温泉という温泉から放射線が出ている。
- ⑤地面からは、おもに岩石に含まれるウランから放射線が出ている。